
少年は臆病である

白鷺美鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年は臆病である

【Nコード】

N9080X

【作者名】

白鷺美鈴

【あらすじ】

「勇敢と臆病の基準は人によって違うらしい」

他サイトでも白鷺美鈴の名で投稿しています

少年がいる。

特に秀でたことがあるわけでもない。多数決では必ず「多」の中にいる、ありふれた少年。

そんな少年、口癖のように言うのであった。

「自分は臆病である」

頑固として変えようとしないそれを肯定する者も否定する者もない。

人々は無意識に「彼は臆病である」と認識し、口癖は少年らの日常として溶け込んだ。

少年は幼い弟を連れて公園にいた。

有り余る体力をそのまま遊びにあてる弟。目で追うのも大変な弟を眺める少年はいつも何一つ変わらない。

近くにいる友人と話しては、やはり「自分は臆病である」と口にする。友人は小鳥の鳴き声のように日常的な彼の口癖を聞いていた。

少年の弟は野良猫を見つけ、野良猫の後を追っていた。

「あの名もわからぬ猫も自分と同じ、臆病だ。見知らぬ男に追い掛けられ怯えている」

話し手の少年は笑っていた。

聞き手の友人も笑っていた。

子どもがおやつの時間を待ち遠しく思う時間。

青い空に似合わず一羽の鳥がカアと鳴く。

弟が鬼役の鬼ごっこ。野良猫は表情を変えずに逃げるばかりである。

そろそろこの風景も見慣れそうであったというのに、突然である。

野良猫は進路を変えた。

少年と友人が談笑する公園の入口、野良猫は静かな顔をして彼らを横切る。

小さな鬼は後に続く。

野良猫は辺りを確認せず、ただ後ろから迫る小さな鬼の大きな好奇心から逃げる。

信号が青に変わるのを待つ人々をかい潜り野良猫は横断歩道を走る。

人々の右耳に届く、近づく車の音。誰かが「危ない」と呟いた。

小さな鬼は人々の間を抜けて横断歩道へ飛び出した。野良猫ばかりに気を取られ小さな鬼は躓き、転んでしまう。

誰かが「危ない」と叫んだ。

途端、兄の少年は血相を変える。

弟の名を叫びながら少年は人々を押し退ける。

車の叫び声に耳を傾けることもなく、少年は横断歩道に飛び出す。

少年からはいつもの冷静さは見当たらない。

地を蹴る。

もう一度名を叫ぶ。

弟を抱き抱える。

地を蹴る。

人々の目に入るのは横切る車。耳に入るのは車と人々の叫び声。後を追って来ていた友人は自分から血の気が引くのを感じた。

鳥がまたカアと鳴く。

車が横切ったその先。

そこには横たわる少年と腕の中で震える弟がいた。

少年はゆっくり立ち上がると自分と弟についた砂を払った。

二人に怪我がないことを知った人々は口々に安堵の声を漏らす。

それは友人も同じ。信号が青に変わると二人に駆け寄った。

友人が駆け寄って最初に目にしたのは、弟が兄に謝っている光景であった。

少年はいつもの笑顔でお互いの無傷を喜んでいた。謝る弟に謝る必要はないと言う。

友人は第一に聞いた。

「君はいつも自分のことを臆病だと言うが、それはどうしてだ」

一瞬、驚きの表情を見せた少年であるが、ふと微笑むと右肩の砂

を払いながら言った。

さも、当然のことを言うように。

「弟は名も知らぬ野良猫の為に命をかけるが、自分は大切な弟の為にしか命をかけることが出来ない。弟は勇敢だ、自分はなんて臆病だろう」

友人は何も言わなかった。

少年は臆病である - 完 -

（後書き）

リハビリり中小説です。
評価お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9080x/>

少年は臆病である

2011年10月25日03時08分発行